

石二小だより

第21号 平成29年6月30日(金)発行 文責:鈴木

【電話】0244-22-2724【ホームページ】http://www.minamisoma.gr.fks.ed.jp/?page_id=145

平成29年度重点目標「しっかり聞いて、しっかり話そう」

夏に向かってぐんぐん育て!

1年生は植木鉢にアサガオを、2年生はミニトマトを育てています。その他にも、ピーマンやナス、枝豆、きゅうりなども露地栽培をしています。5・6年生は、バケツ稲を育てています。また、校舎の裏の畑では、サツマイモがぐんぐんツルを伸ばしています。アサガオは、だいふ葉が大きくなってきました。ミニトマトは、まだ青いですが実がいくつも付いてきました。稲も、青々とした葉がすくすく伸びています。子どもたちは、毎朝登校してくると忘れずに水をあげています。自分の育てている植物や野菜が日に日に大きくなっていくのを観察するのは、とても楽しみです。梅雨に入って、私たちにとってはうっとうしい日々が続きますが、植物にとっては恵みの雨になります。そして、梅雨が明けると暑い夏がやってきます。この夏は、どれくらい



の作物が収穫できるでしょうか。今から楽しみです。

子どもたちの体力を知るために



今月中頃から、各学年で体力テストを行っています。50m走、ボール投げ、立ち幅跳び、反復横跳び、上体起こし、長座体前屈、握力、20mシャトルランの8種目を、校庭や体育館などを使って、その記録をとりました。体力テストは、全国の学校で毎年行われていますが、東日本大震災以降、本県では子どもの運動能力や体力の低下、肥満傾向の児童生徒の増加

があげられます。様々な要因が考えられますが、子どもの外遊びの減少もその一つと言われています。本校でも、震災直後は、それ以前と比較すると全国平均値を下回る種目が少なくありませんでしたが、徐々に回復する傾向にあります。育ち盛りの子どもたちにとっては、適度な食事や睡眠などとともに、運動も大切な要素になります。休み時間などに額に汗して遊び回る姿には、子どもらしい一面を感じます。